

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	伝熱小委員会		主 査 名：宿谷 昌則 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：宿谷 昌則
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 建築の伝熱問題に関わる研究開発・性能検証・評価を幅広く取り上げる。</p> <p>・ 具体的には、窓・壁など伝熱の基本問題、これらを総合したファサードエンジニアリングの問題、建築と都市とのインターフェースの問題、建築と設備とを一体に捉えたエネルギー・資源の有効活用などに関する問題を取り上げる。</p> <p>2012 年度：各 WG の研究をまとめて、熱シンポジウムを開催する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無し</p> <p>主査：宿谷 昌則(東京都市大学)，幹事：西岡 真稔(大阪市立大学)，委員：浅輪 貴史(東京工業大学)，一ノ瀬 雅之(東京理科大学)，猪岡 達夫(中部大学)，菊田 弘輝(北海道大学)，長井 達夫(東京理科大学)，長谷川 兼一(秋田県立大学)，井上 隆(東京理科大学)，秋元 孝之(東京都市大学)，藤井 晴行(東京工業大学)，尾崎 明仁(京都府立大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>[熱環境システム WG]： 建築と空調を総合的なシステムと捉え、新しい視点で空調空間の熱環境設計を行うための手法を検討する。</p> <p>[熱性能評価 WG]： 空調・換気に関わる二酸化炭素排出・エネルギー消費の抑制と、室内温熱環境の向上を最終的な目的として、建物外皮性能、室内温熱環境性能等に関わる評価手法の整理・検討を行う。</p> <p>[都市・建築環境 WG]： 建築と都市熱環境の相互影響を明らかにする視点から、建築の伝熱問題を、外部環境も含めて一体の伝熱系へと拡張してゆく研究課題を中心に取る。</p>		
2011 年度予算	190,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有り</p> <p>委員会 HP アドレス：<a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s13/">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s13/</a></p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 2011 年度は 3WG を中心に、各分野の研究を推進し、2012 年度に予定している熱シンポジウムの企画を開始した。(達成度 70%)</p> <p>2. 小委員会および WG の活動について、WEB により公開している。(80%)</p>
委員会活動の問題点・課題	熱シンポジウム(2012 年度予定)に向けて、研究の到達点を俯瞰するとともに、社会のニーズを踏まえて、シンポジウムのテーマ、プログラムを策定することが課題である。